



統計からみた図書館

合同図書館は1995年9月にオープンし、10年以上が経ちました。今回は、図書館の変遷を利用統計からご紹介したいと思います（文章中の％は、小数点以下第2位を四捨五入したものです）。

年間入館者数は約27,000人増！

年間総入館者数は、1996年の61,392人に対して2006年は88,451人でした。働いている者の実感として、日々のレファレンスの対応や閲覧席の利用状況などから、開館当初に比べて着実に利用者が増えていると感じていましたが、数字にも裏付けされているようです。1日の平均入館者数も、1996年が265人に対して2006年は378人と伸びており、図書館としてはうれしいことです。また入館者割合を所属会別にみると、1996年は、東弁39,358人（64.1％）、二弁16,472人（26.8％）、一弁2,351人（3.8％）、その他（修習生等）3,211人（5.3％）に対し2006年は、東弁54,183人（61.3％）、二弁24,016人（27.2％）、一弁5,833人（6.6％）、その他（修習生等）4,419人（4.9％）となっています。東弁・二弁会員以外の利用者も確実に増加している傾向がうかがえます（図1参照）。

年間貸出件数は約10,000件、 年間貸出冊数は約22,000冊増！

年間貸出件数は、1996年の10,459件に対して2006年は21,266件、年間貸出冊数は、1996年の18,281冊に対して2006年は40,888冊でした。また、年間貸出件数を所属会別にみると、1996年は、東弁6,762件（64.7％）、二弁2,745件（26.2％）、一弁541件（5.2％）、その他411件（3.9％）に対し2006年は、東弁12,689件（59.7％）、二弁5,818件（27.4％）、一弁1,992件（9.4％）、その他767件（3.5％）となっており、貸出サービスも入館者数の伸びと同様に増加しています。そのため、合同図書館では貸出ニーズに応えられるように、需要の多い図書は複本を購入しています（図2参照）。

図1 合同図書館 入館者数の推移

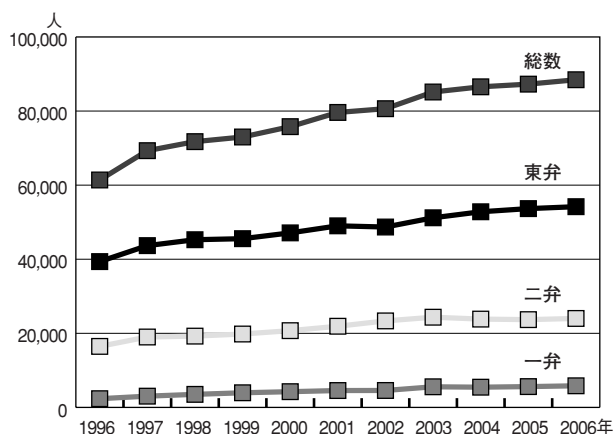
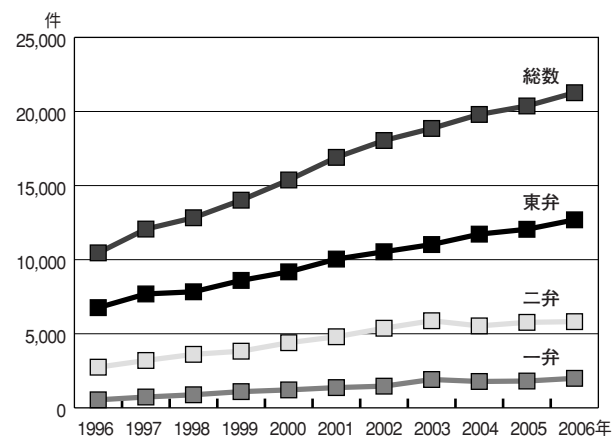


図2 合同図書館 貸出件数の推移



図書館学では、図書館の構成要素は、資料、利用者、施設、図書館員といわれています。利用の増加は、会員の会費に支えられて蔵書を着実に増やすことができ、旧会館のころに比べれば格段によい施設になったおかげでもあります。これからも図書館が発展するためには、ハードだけでなくソフトの充実も欠かせません。会員の皆様にとって身近で便利な図書館であるように、わたしたちスタッフは精進したいと思います。

（東弁・二弁合同図書館事務局 高橋 淑子）